

KYOUSEI DAYORI

-きょうせいだより-

第30号 令和6年4月

CONTENTS

- ・更生支援企画課の取組
- ・インタビュー
BBS
- ・検証！非行少年と生育環境①



矯正を知ろう！再犯防止をもっと身近に！

きょうせいだよりってなに？

本誌は、地方公共団体や民間団体の皆さまに、法務省の再犯防止の取組や矯正施設のことなどを知ってもらいたいという思いを込めて配信するお便りです。日々の業務の合間に手に取ってご覧いただき、私たち矯正のことを少しでも身近な存在として感じていただけますと幸いです。



地方公共団体との連携強化



再犯防止×地方創生

ワークショップ型研修

矯正施設、自治体、関係機関の職員が集い、社会課題を解決するために刑務所等が地域の資源として何ができるか検討を進めています。



矯正施設所在自治体会議

(@大分少年院)

運営のサポートや施設見学、矯正の取組説明を実施しています。



刑務所作業製品

地域とコラボした刑務所作業製品の開発や、刑務所作業製品の活用についての相談に応じます。



矯正施設 見学会

施設との連絡調整を行います。

※矯正施設・・・刑務所、拘置所、少年院、少年鑑別所

福岡矯正管区 更生支援企画課の取組

新年度になり、新たに地方公共団体の再犯防止担当になった方ももちろん、きょうせいだより愛読者の方にも、改めて更生支援企画課について知っていただけるよう、当課の取組を紹介します。

民間協力者との連携強化



居住支援意見交換会

(@佐賀少年刑務所)

居住支援法人や関係機関との意見交換を行っています。



農福連携意見交換会

(@麓刑務所)

農福連携に取り組む事業所や関係機関との意見交換を行っています。

この他にも、地方公共団体で行われる再犯防止に係る協議会への参加や統計データの提供（自治体向け）講演会への職員派遣、よりそい弁護士制度の連絡調整、広報・啓発活動なども行っているよ。



interview

吉富 綸さん

—九州大学BBS会19代目会長—



BBS会

Big Brothers and Sisters Movement



九州大学BBS会 会長の声

BBS会の最小単位である地区BBS会は、市区町村などの行政区域や大学などを単位に、全国に約500あります。今回は、そのうちの九州大学BBS会の会長をしている吉富さんに、活動内容や更生支援に対する思いについてうかがいました。

BBSは、様々な問題を抱える少年と、兄や姉のような身近な存在として接しながら、少年が自分自身で問題を解決したり、健全に成長していくのを支援するとともに、犯罪や非行のない地域社会の実現を目指す**青年ボランティア団体**で、全国で約4000人の会員が参加しています。

近年では、児童福祉施設における学習支援活動や児童館における子どもとのふれあいや行事等も実施しています。BBSの趣旨に賛同いただける方はどなたでも参加可能ですので、入会に関しては、**最寄りの保護観察所**までお問い合わせ願います。

近年では、児童福祉施設における学習支援活動や児童館における子どもとのふれあいや行事等も実施しています。BBSの趣旨に賛同いただける方はどなたでも参加可能ですので、入会に関しては、**最寄りの保護観察所**までお問い合わせ願います。

福原…BBS会ではどのような活動をしているのですか？
吉富…九州大学BBS会では、**子ども食堂**に参加したり、**ともだち活動**を行ったりして子どもの居場所作りのための活動を主に行っています。更生保護に関わりが深いのは、**ともだち活動**で、非行少年と「ともだち」になることを通して、立ち直りを支える活動です。

福原…具体的にはどのようなことをするのですか？
吉富…BBS会員と少年が1対1又は1対2くらいで、遊びに行ったり少年のお家に行ったりたくさんのお話をしながら、徐々に信頼関係を築いていき、時には悩みごとの相談に乗ったりといったことをしています。

福原…何か特別なことをするわけではなく、ごく一般的なともだちのように接するんですね。九州大学BBS会員は何名ほどいますか？
吉富…現在会員は45名います。男女比はやや女性が多いです。子供の学習支援や居場所活動に興味のある人、子ども食堂に関わりたい人、ともだち活動をしたくて会員になった人など、入会理由はそれぞれです。会員になる際に、元々BBSが更生保護から発足した団体であることを

福原…何か特別なことをするわけではなく、ごく一般的なともだちのように接するんですね。九州大学BBS会員は何名ほどいますか？
吉富…現在会員は45名います。男女比はやや女性が多いです。子供の学習支援や居場所活動に興味のある人、子ども食堂に関わりたい人、ともだち活動をしたくて会員になった人など、入会理由はそれぞれです。会員になる際に、元々BBSが更生保護から発足した団体であることを



「困ったときに助けを求められるように、普段からの関係づくりをしっかりとしておくことが大切です。」



知らない人も半分くらいいて、新会員研修で更生保護についての理解を深める人が多いです。そんな私も元々は子ども食堂をしたいたいと思いBBSに入ったので、正直なところ当初は更生保護の活動に余り意欲的ではありませんでした。

福原・吉富さんが携わったのもだち活動について聞かせてもらえますか。

吉富・私は今大学3年で、これまでの大学生活がちょうど新型コロナウイルスが流行っていた時期に重なっていたので、ともだち活動の経験は少ないのですが、**保護観察中の女子少年**を担当したことがあります。ちなみに、保護観察が終了すると、少年からの再依頼がない限り、ともだち活動も卒業になります。月一回程度一緒にご飯を食べに行き、たまに動物園や能古島や系島ドライブに行ったりして、更には日常的にLINEでメッセージのやり取りをしたりしていました。私以外の九大BBS会員数名は、福岡学園（児童自立支援施設）での学習支援も行っています。



福原・非行に関してや、今後の生活に対するアドバイスなどもするので、どうですか。

吉富・こうした方がいい、あしたの方がいいと言ってもなかなか受け入れてもらえないことが多いので、正論を強制するようなアドバイスはしません。代わりに、そのような話になるたびに、「こういう考えもあると思うよ。」とその都度私自身の正直な考えや思いを伝えるようにしています。

福原・その他に、少年との関わりで意識していることはありますか？

吉富・最初から白黒はっきり

させるような言い方や接し方をすると心の距離を置かれてしまうので、まずは少年の話にしっかりと耳を傾け、共感できる部分やすごいと思うところは正直に伝えるように意識しています。

福原・ともだち活動をしているの苦労などはありますか？

吉富・夜中に、「絡まれてるんですけど・・・」と助けを求める電話が掛かってきたことがあって、その時はどうしようと思いましたが、余り苦労というのを感じていません。

福原・非行少年との関わりの中で、彼ら彼女らの特徴や抱えている背景などについて感じることはありますか？

吉富・その人その人によると思いますが、私が担当した少年や他の活動で接する子供たちには共通する特徴として、

「本音を言い合える友達が少ないのかな。」と感じます。ゲームやYouTubeなどの話は子供たちとよく話すんですけど、**人と人とのリアルなつながりは希薄なのかな**と感じることがあります。そう考えると、私たちBBSがとも

だち活動をできる場って、もっと色々あるのではないかなと感じます。

福原・非行少年が立ち直るために必要だと思うことは何だと思えますか？

吉富・頼れる人をたくさん作ることもかなと思います。友達や家族以外にも困ったときに頼れる人が何人かいれば、一人で悩みこむことも少なくなると思えます。そして、頼ってもらおう側としては、本当に困ったときに助けを求められるように、**普段からの関係づくり**をしっかりとしておくことが大切です。

福原・最後にBBS会員を考えている人に向けてBBSの魅力について教えてください。

吉富・BBSはボランティアですが、このような**一人の少年にじっくりと向き合ってお互いに成長していけるボランティア**は他にはなかなかないと思います。きっと想像する以上の深い経験ができますので、子どもが好きな人、非行少年の立ち直りに携わってほしい人はぜひ会員になってほしいです。



(出典：令和5年版犯罪白書)

特性に応じた効果的な指導のために

令和5年版犯罪白書では、「非行少年と生育環境」という特集が生まれ、その中で、「非行少年やその保護者を対象として実施した特別調査の結果が紹介されています。生育環境と関連付けて非行少年の特性を分析し、今後の指導や支援の在り方、再非行防止対策の在り方等について検討しています。今号と次号では、その中から一部を取り上げて、ご紹介いたします。

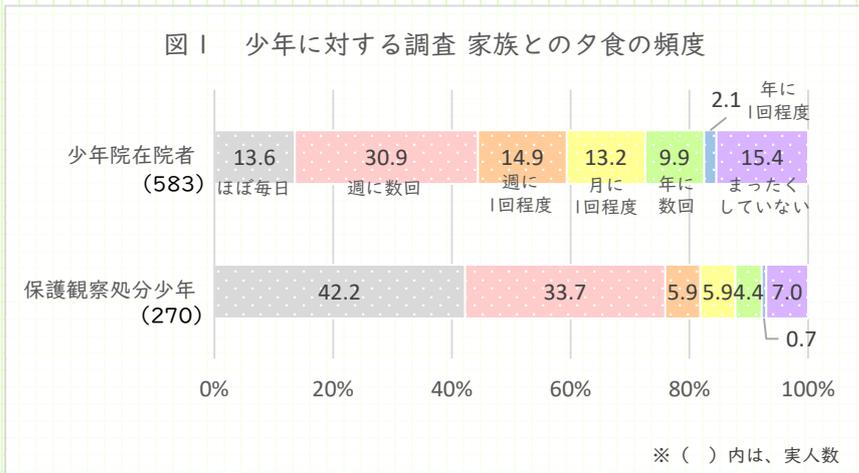
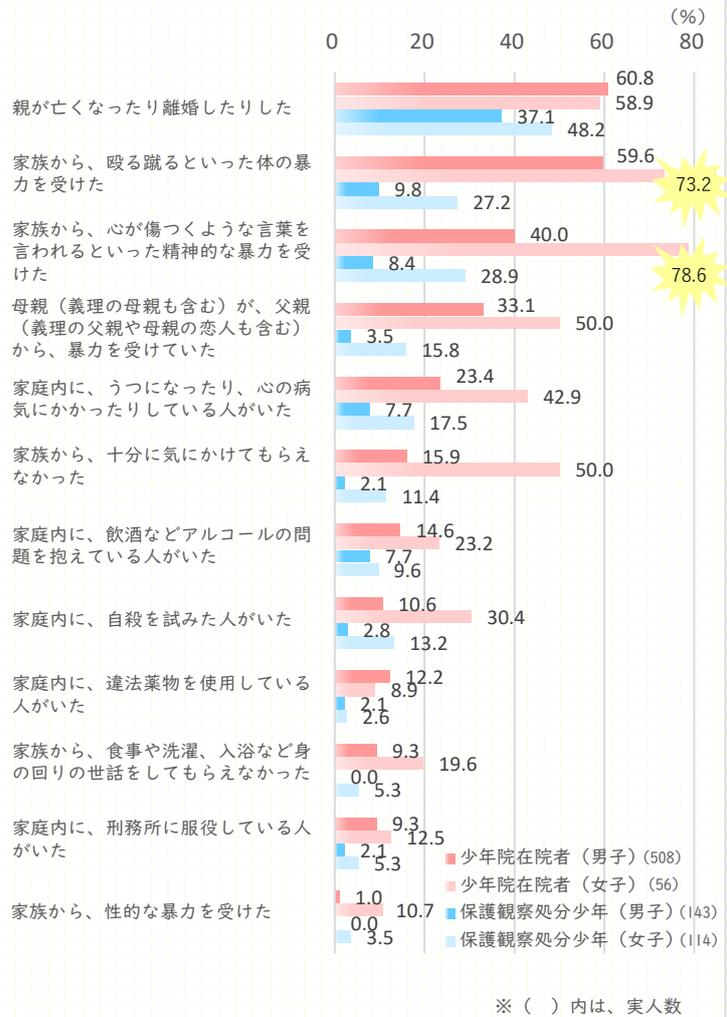


図2 少年に対する調査 小児期逆境体験 (ACE) の経験の有無 (男女別)



家族との夕食の頻度

図1と図2は、法務総合研究所が作成した自記式の質問紙を用いて行われた特別調査の結果です。

図1は、過去1年間に家族と一緒に夕食を食べた頻度 (少年院在院者は、少年院に入る前の1年間における頻度) について回答してもらったもので、法務総合研究所が実施した他の調査研究 (対象は全国の満16歳以上22歳以下) と比べると、少年院在院者と保護観察処分少年は共に、一般の少年よりも家族と一緒に夕食をとる機会が少ないことがわかりました。

小児期逆境体験 (ACE)

図2では、18歳まで (18歳未満の者) については調査時点の年齢までのACEの有無について分析しています。

全12項目のうち、1項目以上該当があった者の割合は、少年院在院者 (男子) 86.8%、同 (女子) 94.6%、保護観察処分少年 (男子) 49.7%、同 (女子) 69.3%でした。少年院在院者はACE有りの者が多く、小児期に逆境を重複して経験している可能性もあり、トラウマ (心的外傷) との関連が懸念されます。現在、少年院でも、民間団体の協力を得て、トラウマインフォームドケアの知見を取り入れつつあると見られます。

質問やご意見、取り上げてほしい事項などありましたら、当課までお気軽にご連絡ください。

お問合せ先

福岡矯正管区 更生支援企画課 福岡市東区若宮5丁目3番53号
 TEL:092-661-1143 (直通) FAX:092-663-1001
 MAIL:1.fukuokakyousei.9jf@i.moj.go.jp

